

世界初望遠端 800mm の超望遠ズームレンズ“RF200-800mm F6.3-9 IS USM”を発売 手持ち撮影が可能な小型・軽量設計とズーム全域での高画質を両立

キヤノンは、「EOS R システム」の交換レンズ「RF レンズ」の新製品において、ミラーレスカメラ用オートフォーカス（AF）対応ズームレンズとして世界初^{※1}の焦点距離 800mm を含む超望遠ズームレンズ“RF200-800mm F6.3-9 IS USM”を2023年12月上旬に発売します。



RF200-800mm F6.3-9 IS USM



望遠端 800mm で迫力のある超望遠撮影を実現



“RF200-800mm F6.3-9 IS USM”は、望遠端 800mm を実現したハイアマチュアユーザー向けの超望遠ズームレンズです。快適な手持ち撮影を実現する小型・軽量設計とズーム全域での高画質を両立しました。野鳥・野生動物や飛行機、モータースポーツなどの超望遠撮影において、より被写体に迫り細部までを鮮明に描きたいユーザーや、撮影の機動力を高めたいユーザーのニーズに応えます。

■ 焦点距離 200mm から 800mm をカバーする超望遠ズームレンズ

望遠端 800mm の焦点距離により、遠距離にある被写体を画面いっぱいに引き寄せ、迫力のある超望遠撮影をすることができます。また、広角端 200mm から望遠端 800mm の幅広い焦点距離を 1 本でカバーするため、野鳥のような近づいたり離れたりとといった動きの予測が難しい被写体の撮影において、レンズ交換をせずに被写体を追い続けながらシャッターチャンスを狙うことが可能です。さらに、別売りのエクステンダーをズーム全域で使用でき、焦点距離 1600mm^{※2}まで望遠域を拡大することができます。

■ 小型・軽量設計とズーム全域での高画質を両立

焦点距離 200mm から 800mm の超望遠ズームレンズながらも全長約 314.1mm、質量約 2,050g の小型・軽量設計を実現し、快適な手持ち撮影が可能な優れた機動性と携帯性を備えています。また、「UD レンズ^{※3}」3 枚を効果的に配置した 11 群 17 枚の新規光学設計により、ズーム全域で色収差を補正し、色にじみの少ない鮮明な描写を実現しています。

■ 強力な手ブレ補正と高速かつ滑らかな AF で幅広いシーンに対応

レンズ内光学式手ブレ補正機構により、5.5 段^{※4}の手ブレ補正効果を実現しています。さらに、ボディ内手ブレ補正機構を搭載している EOS R シリーズ^{※5}のカメラとの組み合わせでは、協調制御に対応しています^{※6}。また、キヤノン独自開発の超音波モーター「ナノ USM」により、静止画撮影における高速・高精度な AF と動画撮影における滑らかな AF を実現しています。

※1. 2023年11月1日現在発売済みのフルサイズセンサー対応のミラーレスカメラ用オートフォーカス対応の交換レンズとして。（キヤノン調べ）

※2. 「エクステンダー RF2x」（2020年7月発売）装着時。「エクステンダー RF1.4x」（2020年7月発売）装着時は焦点距離 1120mm まで拡張。

※3. UD（Ultra Low Dispersion=特殊低分散）ガラスを用いたレンズ。

※4. CIPA 規格、焦点距離 800mm、「EOS R」（2018年10月発売）使用時、Yaw/Pitch 方向。

※5. 協調制御対応カメラはキヤノン公式 WEB サイトをご確認ください。

※6. 焦点距離 800mm 時、5.5 段の手ブレ補正効果。CIPA 規格、「EOS R3」（2021年11月発売）使用時、Yaw/Pitch 方向。焦点距離が長くなるにつれ協調制御の効果は低減しますが、広角側ではその効果を得られます。

製品名	希望小売価格	発売日
RF200-800mm F6.3-9 IS USM	オープン価格	2023 年 12 月上旬

-
- 一般の方のお問合せ先 : キヤノンお客様センター 0570-08-0002
 - EOS ホームページ : canon.jp/eos

〈主な特長〉

1) 焦点距離 200mm から 800mm をカバーする超望遠ズームレンズ

- 世界初の焦点距離 800mm を含む超望遠ズームレンズ。1 本で広角端 200mm から望遠端 800mm の幅広い焦点距離をカバーし、ユーザーの撮影領域の拡大に貢献。APS-C サイズカメラ装着時は焦点距離がさらに 1.6 倍となり望遠域を拡張。
- 望遠端 800mm により、野鳥・野生動物、飛行機、モータースポーツ、イベントなど、近づくことが難しい場所にある被写体を画面いっぱいに引き寄せ、迫力のある超望遠撮影が可能。
- 広角端 200mm から望遠端 800mm の幅広い焦点距離を 1 本でカバーするため、野鳥・野生動物のような近づいたり離れたりといたった動きの予測が難しい被写体の撮影において、レンズ交換をせずに被写体を追い続けながらシャッターチャンスを狙うことが可能。
- 別売りのエクステンダー「エクステンダー RF1.4x」、「エクステンダー RF2x」をズーム全域で使用可能。焦点距離を 1.4 倍／2 倍に伸長し、最長焦点距離 1120mm／1600mm 相当の超望遠撮影を実現。
- 焦点距離 200mm 時は最短撮影距離 0.8m、最大撮影倍率 0.25 倍を達成。焦点距離 800mm 時は最短撮影距離 3.3m、最大撮影倍率 0.2 倍を実現し、近くの被写体にも快適にピントを合わせることが可能。



焦点距離 200mm



焦点距離 800mm



焦点距離 1120mm
「エクステンダー RF1.4x」使用



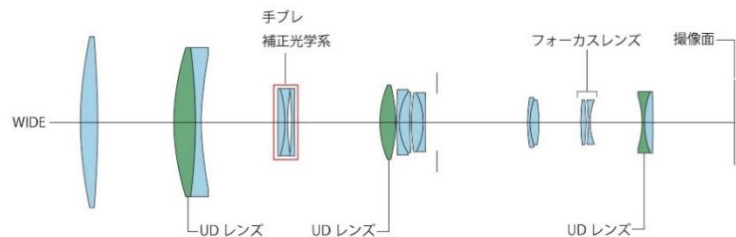
焦点距離 1600mm
「エクステンダー RF2x」使用

2) 小型・軽量設計とズーム全域での高画質を両立

- 「RF マウント」の特長である大口径・ショートバックフォーカスを生かした全長可変式のズーム機構の採用により、焦点距離 200mm から 800mm の超望遠ズームレンズながらも全長約 314.1mm、質量約 2,050g の小型・軽量化を実現。高い機動性により快適な手持ち撮影が可能。
- 「UD レンズ」3 枚を効果的に配置した 11 群 17 枚の新規光学設計により、ズーム全域で色収差を補正し、色にじみの少ない鮮明な描写性能を実現。
- 高感度性能に優れた「EOS R3」、「EOS R6 Mark II」（2022 年 12 月発売）、「EOS R8」（2023 年 4 月発売）など EOS R シリーズ※のカメラとの組み合わせにより、十分な光量が得られない撮影環境においてもノイズの少ないクリアな描写が可能。



快適な手持ち撮影が可能



RF200-800mm F6.3-9 IS USM の光学構成図（焦点距離 200mm 時）

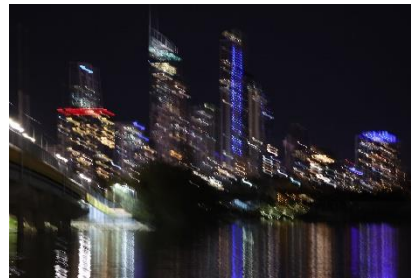
※ カメラの対応 ISO 感度はキヤノン公式 WEB サイトをご確認ください。

3) 強力な手ブレ補正と高速かつ滑らかな AF で幅広いシーンに対応

- レンズ内光学式手ブレ補正機構により 5.5 段の手ブレ補正効果を実現。
- ボディ内手ブレ補正機構を搭載している EOS R シリーズのカメラとの組み合わせでは、協調制御に対応。
- キヤノン独自開発の超音波モーター「ナノ USM」により、静止画撮影における高速・高精度 AF を実現。動画撮影時も滑らかな AF により快適な撮影が可能。
- EOS R シリーズのカメラすべてに搭載されているデュアルピクセル CMOS AF との組み合わせで、エクステンダー使用時も AF 撮影が可能^{※1}。
- 「EOS R3」の「流し撮りアシスト」機能に対応^{※2}。流し撮り撮影時に手ブレと被写体ブレを補正し、撮影の歩留まり率の向上や、より長秒のシャッタースピードでの撮影をサポート。
- 動画撮影時のフォーカス操作によって生じる画角変動を、カメラで電子的に補正する「フォーカスブリージング補正」に対応^{※3}。



手ブレ補正機能 ON



手ブレ補正機能 OFF

(「EOS R3」で撮影、焦点距離 200mm、1/4 秒、F8.0、ISO6400)

※1. カメラによって対応する測距エリアが異なります。測距エリアについてはキヤノン公式 WEB サイトをご確認ください。

※2. Version 1.4.0 以降のファームウェアの適用が必要。

※3. フォーカスブリージング補正機能を搭載したカメラ装着時。動画撮影モードでのみ使用可能。

4) 快適な超望遠撮影を実現する操作性と信頼性

- フィールドでの撮影を想定し、太陽の熱によるレンズの温度上昇を抑えるために白塗装^{※1}を採用。
- ズームリングの動きの量とトルクの重さのバランスを最適化し、滑らかなズーム作動を実現。全長が変化しても重心バランスが変化しにくい位置に三脚リングを配置。
- フォーカス／コントロールリングには、ユーザーが任意の機能を割り当てることが可能。ズームリングは、調整リングによりトルクの重さを調整でき、快適な操作性を実現。
- 左手親指で操作しやすい位置に「レンズファンクションボタン」を配置。カメラを構えながら AF や露出など任意で割り当てた機能に切り替えることが可能。
- マウント部、スイッチ部、ボタン部、フォーカス／コントロールリング、ズームリング、調整リングに防じん・防滴構造を採用^{※2}。

※1. RF の超望遠レンズや「RF100-300mm F2.8 L IS USM」(2023 年 5 月発売)のような遮熱性能はありませんが、白色は黒色と比べると熱吸収性が低いため、太陽の熱によるレンズの温度上昇を抑える効果があります。

※2. 防じん・防滴に配慮した構造になっていますが、砂じんや水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。<https://cweb.canon.jp/eos/rf/lineup/rf200-800-f63-9/>